



平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月11日

上場会社名 富士精工株式会社

上場取引所 名

コード番号 6142 URL <http://www.c-max.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 森 誠

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 鈴木 龍城

TEL 0565-53-6611

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日

平成25年11月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	8,611	1.0	274	△53.3	530	△25.0	344	△25.8
25年2月期第2四半期	8,521	8.2	587	75.4	708	81.5	463	79.2

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 1,108百万円 (64.9%) 25年2月期第2四半期 672百万円 (80.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	18.32	18.18
25年2月期第2四半期	24.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	20,840	14,755	64.8	717.95
25年2月期	19,685	13,704	64.3	674.02

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 13,508百万円 25年2月期 12,667百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年2月期	—	3.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,140	1.1	830	△19.8	1,180	△11.7	910	△22.5	48.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成25年10月11日)公表いたしました「平成26年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と決算数値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	21,533,891 株	25年2月期	21,533,891 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	2,717,922 株	25年2月期	2,740,741 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	18,799,146 株	25年2月期2Q	18,916,670 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付書類P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新興市場の継続的な成長や米国経済の回復傾向などが見られた一方で欧州市場は停滞感が続くなど二極化の状況にありました。

また、わが国の経済は、政治主導による経済政策が功を奏し、円高是正が進み輸出企業を中心に業績の回復が見られたことから概ね活発な状況を呈しておりますが、原材料価格の上昇や消費増税に対する不安感など、依然として先行きの不透明感は払拭されておられません。

当社グループの主要な取引先であります自動車産業界におきましては、生産の回復基調が鮮明となり、円安の影響もあって業績は堅調であります。

しかしながら生産活動の海外シフトは継続して進んでおり、国内生産の低迷といった構造的な問題により、将来への懸念材料も残されています。

こうした環境のもと、当社グループといたしましては、中期経営戦略に掲げた「特殊工具のオンリーワン・カンパニーとなる」「加工点まわりのトータル・エンジニアリング・カンパニーとなる」といったテーマのもと、取引先との取引深耕に努め、受注確保を図ってまいりました。

一方、利益面につきましては売上原価の増加などにより前年同四半期と比較して減少いたしました。

その結果、売上高は86億1千1百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益2億7千4百万円（前年同四半期比53.3%減）、経常利益5億3千万円（前年同四半期比25.0%減）、四半期純利益3億4千4百万円（前年同四半期比25.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①日本

自動車産業界における国内生産は堅調に推移いたしました。設備投資については慎重な状況が見られ、これにともない工具需要は鈍化いたしました。

その結果、売上高は50億3千1百万円（前年同四半期比8.9%減）となり、利益面につきましては売上原価の増加などにより、セグメント利益は5千8百万円（前年同四半期比85.2%減）となりました。

②アジア

自動車産業界においては当セグメントにおける設備投資が活発であり、工具需要も好調に推移いたしました。

その結果、売上高は20億3千3百万円（前年同四半期比15.7%増）となり、利益面につきましては売上原価の増加などにより、セグメント利益は1億5千2百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。

③北米・中米

自動車産業界における自動車生産の回復を受け、工具の需要が増加に転じてまいりました。

その結果、売上高は7億7千7百万円（前年同四半期比52.5%増）、セグメント利益は8千7百万円（前年同四半期比904.6%増）となりました。

④オセアニア

豪ドル高にともなう国内製品の競争力低下、国内の小売業界不調等の影響を受け、当地域において販売しております住宅用断熱資材、バブルバック製品の需要は減少いたしました。

その結果、売上高は6億1百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント損失は4千8百万円（前年同四半期は2千7百万円のセグメント利益）となりました。

⑤その他

当セグメントにおきましては、売上高は1億6千7百万円（前年同四半期比25.1%増）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期は2百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、総資産は11億5千5百万円増加して208億4千万円となりました。

これは主に、現金及び預金が6億9千1百万円、商品及び製品が1億9千5百万円、投資有価証券が3億3千万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して、1億3百万円増加して60億8千5百万円となりました。

これは主に、短期借入金が5千万円、1年内返済予定の長期借入金が2千1百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末と比較して、10億5千1百万円増加して147億5千5百万円となりました。

これは主に利益剰余金が2億8千8百万円、為替換算調整勘定が4億9千5百万円、少数株主持分が2億2百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は64.8%となっております。

キャッシュ・フローの状況につきましては次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して、7億8千万円増加し、38億3千9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は10億4千8百万円（前年同四半期比62.1%増）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益5億3千2百万円、売上債権の減少額5億1千8百万円、減価償却費4億5千3百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は4億7千9百万円（前年同四半期比232.7%増）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出4億2千4百万円、有価証券の取得による支出1億3百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は7千1百万円（前年同四半期は2億6千7百万円の使用）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入4億円、長期借入金の返済による支出2億7千1百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期通期の連結業績予想については、平成25年4月15日発表の連結業績予想を変更いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年10月11日）公表いたしました「平成26年2月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と決算数値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正にともない、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,357,837	3,049,182
受取手形及び売掛金	4,828,500	4,480,625
有価証券	701,175	790,710
商品及び製品	1,460,671	1,655,822
仕掛品	391,932	381,864
原材料及び貯蔵品	308,298	348,197
繰延税金資産	178,334	167,982
その他	146,590	183,381
貸倒引当金	△16,126	△15,632
流動資産合計	10,357,214	11,042,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,568,460	2,576,098
機械装置及び運搬具（純額）	2,852,488	2,970,676
土地	1,375,940	1,388,133
建設仮勘定	11,699	60,901
その他（純額）	177,051	170,799
有形固定資産合計	6,985,641	7,166,609
無形固定資産	210,480	222,791
投資その他の資産		
投資有価証券	1,898,190	2,229,182
長期貸付金	3,430	2,968
繰延税金資産	42,838	45,876
その他	222,627	165,958
貸倒引当金	△34,976	△34,976
投資その他の資産合計	2,132,110	2,409,008
固定資産合計	9,328,232	9,798,409
資産合計	19,685,446	20,840,543

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,035,615	1,029,776
短期借入金	743,146	793,576
1年内返済予定の長期借入金	705,798	727,304
未払法人税等	81,513	87,301
賞与引当金	119,164	128,507
繰延税金負債	1	—
その他	961,835	908,072
流動負債合計	3,647,075	3,674,538
固定負債		
長期借入金	471,516	580,185
退職給付引当金	1,559,968	1,549,149
繰延税金負債	91,108	106,448
その他	211,674	175,001
固定負債合計	2,334,268	2,410,785
負債合計	5,981,344	6,085,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,882,016	2,882,016
資本剰余金	4,165,413	4,164,688
利益剰余金	6,637,915	6,925,986
自己株式	△753,988	△747,708
株主資本合計	12,931,356	13,224,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202,171	254,550
為替換算調整勘定	△466,477	29,458
その他の包括利益累計額合計	△264,306	284,009
新株予約権	16,213	22,959
少数株主持分	1,020,838	1,223,268
純資産合計	13,704,102	14,755,219
負債純資産合計	19,685,446	20,840,543

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	8,521,922	8,611,280
売上原価	6,522,441	6,757,316
売上総利益	1,999,481	1,853,963
販売費及び一般管理費	1,412,148	1,579,392
営業利益	587,333	274,571
営業外収益		
受取利息	32,600	14,097
受取配当金	10,037	9,491
持分法による投資利益	133,872	55,473
為替差益	—	118,521
デリバティブ評価益	15,204	—
その他	59,540	79,596
営業外収益合計	251,254	277,180
営業外費用		
支払利息	30,085	13,612
売上割引	5,764	4,346
為替差損	77,368	—
その他	17,281	2,963
営業外費用合計	130,499	20,922
経常利益	708,088	530,829
特別利益		
固定資産売却益	3,039	2,992
投資有価証券売却益	—	3,250
特別利益合計	3,039	6,243
特別損失		
固定資産除売却損	4,919	4,469
投資有価証券評価損	96,284	—
その他	21,497	—
特別損失合計	122,702	4,469
税金等調整前四半期純利益	588,424	532,603
法人税、住民税及び事業税	76,258	102,850
法人税等調整額	1,917	9,532
法人税等合計	78,176	112,383
少数株主損益調整前四半期純利益	510,248	420,219
少数株主利益	46,338	75,769
四半期純利益	463,910	344,449

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	510,248	420,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,922	52,379
為替換算調整勘定	139,014	486,230
持分法適用会社に対する持分相当額	36,017	150,139
その他の包括利益合計	162,109	688,749
四半期包括利益	672,358	1,108,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	622,047	892,765
少数株主に係る四半期包括利益	50,311	216,204

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	588,424	532,603
減価償却費	405,238	453,858
デリバティブ評価損益(△は益)	△15,204	—
持分法による投資損益(△は益)	△133,872	△55,473
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△37,351	△18,233
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△13,890
賞与引当金の増減額(△は減少)	31,872	9,343
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,059	△2,183
受取利息及び受取配当金	△42,637	△23,588
支払利息	30,085	13,612
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,880	1,476
投資有価証券評価損益(△は益)	96,284	△3,250
売上債権の増減額(△は増加)	14,863	518,396
たな卸資産の増減額(△は増加)	△249,529	△54,715
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,355	△62,992
その他	77,676	△205,620
小計	746,435	1,089,343
利息及び配当金の受取額	52,984	66,004
利息の支払額	△30,507	△13,287
法人税等の支払額	△122,043	△93,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	646,869	1,048,398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△83,981	△103,526
有価証券の売却による収入	141,132	6,689
有形固定資産の取得による支出	△326,981	△424,557
有形固定資産の売却による収入	5,711	3,095
貸付けによる支出	△1,295	△471
貸付金の回収による収入	1,688	1,135
定期預金の払戻による収入	20,000	—
その他	99,557	37,962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,169	△479,671

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	—
長期借入れによる収入	400,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△426,449	△271,033
自己株式の売却による収入	—	6,150
自己株式の取得による支出	△546	△594
配当金の支払額	△37,429	△56,697
少数株主への配当金の支払額	△275	△861
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,181	△5,358
財務活動によるキャッシュ・フロー	△267,883	71,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,348	140,546
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	240,165	780,877
現金及び現金同等物の期首残高	2,461,834	3,058,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,702,000	3,839,852

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,521,152	1,757,983	509,980	598,607	8,387,723	134,199	8,521,922	—	8,521,922
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	773,630	262,826	198	—	1,036,656	4,047	1,040,703	△1,040,703	—
計	6,294,782	2,020,810	510,179	598,607	9,424,379	138,246	9,562,626	△1,040,703	8,521,922
セグメント利益 又は損失(△)	397,484	155,631	8,703	27,586	589,406	△2,363	587,042	290	587,333

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額290千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	アジア	北米・中米	オセアニア	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,031,182	2,033,134	777,776	601,257	8,443,349	167,930	8,611,280	—	8,611,280
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	842,109	332,459	899	—	1,175,467	1,952	1,177,420	△1,177,420	—
計	5,873,291	2,365,594	778,675	601,257	9,618,817	169,883	9,788,700	△1,177,420	8,611,280
セグメント利益 又は損失(△)	58,984	152,568	87,435	△48,773	250,215	889	251,105	23,466	274,571

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州の現地法人の事業活動であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額23,466千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

- (7) 重要な後発事象
該当事項はありません。